

加蘇中地域コーディネーター 鈴木寿子さん



Q 地域コーディネーターになったきっかけは何ですか？

3、4年前に教頭先生から声をかけられたことがきっかけです。

14年間くらいお囃子の指導をしていたことや他地区で小学校や中学校のオーケストラ部の指導をしていたこと、学校評議員、主任児童員をお受けしていたことなどが推薦の理由かと思います。

自分は、他地区から嫁いできたので、地域のことが全く分からなく不安だったのですが、子供たちを通してつながりができるからと言われたのも引き受けるきっかけとなりました。



取材したこの日は、縦割りで行っている総合的な学習の時間「やまなみ」の伝統芸能コースのお囃子の指導のボランティアの日でした。6か月で20回という指導で、毎回2時間行うそうです。この日は、最後の時間でした。生徒の心を合わせた見事な演奏を聴かせていただき、「教えている甲斐があるだろうなあ。」と思いました。生徒たちとの心のつながりも感じられる素晴らしい時間でした。



ありがとう
ございました



この日は、ボランティア最後の日ということで、サプライズで鈴木さんへの感謝の会がありました。手紙や花束をいただき、みんなで記念写真を撮りました。

Q コーディネーターとしての研修などは受けましたか？

以前から、ボランティアの研修は受けていました。地域コーディネーター対象の研修は、去年と一昨年と県の研修を受けました。また、自分で見つけて他市町の研修に行ったこともあります。

以前、A小で、講師として依頼されてボランティアを行ったことがありましたがその時は、迷いながら教えていました。その時、研修が必要だと感じて、様々な研修を受けました。その際感じたことは、「場所によってやっていることが違う。何でもありませんなあ。」ということでした。

Q コーディネーターの主な仕事は何ですか？

学校内でのコーディネートはしていません。地域の「カソトモの森・カソトモの畑」の活動を「加蘇地区ふるさとづくり協議会」で話し合っています。どんなことができるか、何ができるか会議を重ね、これから民生・児童委員やPTAなどと連携してやれるようにしていきたいと思っています。

「カソトモ」ってなあに？



鹿沼市加蘇地区と「カソトモの森・畑」

鹿沼市加蘇地区は、鹿沼ICから西約12kmのところに位置する、地区人口1,800人の集落です。加蘇地区には、加蘇山神社、千本桂、大滝など素晴らしい文化財、自然があります。



この地区で活動する「加蘇地区ふるさとづくり協議会」は、加蘇地区の魅力を発信し、加蘇地区ファン=カソトモを増やしていくための活動を行っています。地域のベテラン、若手メンバーがバランスよく加わった組織で積極的に様々な活動を行っています。

鹿沼市加蘇地区の新しい交流の拠点 「カソトモの森」「カソトモの畑」

「TUNAGU」のHPより



詳しくは、「TUNAGU」のホームページか「カソトモ鹿沼」で検索してね。

Q 学校と地域の連携はどのように行っていますか？



まだ、これからです。

子供たちが元気に笑って、お腹いっぱい暮らせる世の中がいいと思っています。誰でもいいからそばにいて、ひとりぼっちじゃない環境を作っていけるような連携ができればいいと思います。

Q ボランティアのやりがいは何ですか？

- ①子供たちが元気に笑って取り組んでいる姿を見ること
 - ②子供たちができれば（教えたことを習得すれば）うれしい
- ※楽しさを教えることが大切だと思います。



Q ボランティアの苦勞は何ですか？

決められた時間内で指導することです。

※1年間の日程については、顧問の先生からの連絡があり、予定が立つので、助かります。

Q コミスクでの連携・協働はどのように行っていますか？

コミスクは始まったばかりで、今のところ連携はありません。

しかし、加蘇地区の地域づくりに関しては「加蘇地区ふるさとづくり協議会」で、これから連携・協働が一層求められると思うので、そこで地域づくりの手伝いをしていきたいと思っています。



加蘇中は、加園小と合同でひとつの運営協議会を持ちました。加蘇地区の子どもたちの健全育成や地域について話し合います。加蘇地区学校運営協議会は、令和4年度からの導入です。

加蘇中と加園小は、学校運営協議会の導入前の令和3年度の夏休みに、2校合同で、コミスクの教職員研修を行いました。地域の良さや子供たちの良さなどを共通理解しました。また、2校の先生方の交流を持ち、大変有意義な研修会でした。普段から、小中連携ができていて、素晴らしいと思いました。



Q 最後に何かお話ししておきたいことがございましたら…

加園小学校で学校創立150周年祭があり、そこでお囃子を披露するということで、ボランティアとして指導に行きました。「校歌」「ビリーブ」「カントリーロード」を演奏しました。子どもたちのためにお囃子のはんてんを作りました。加蘇コミセンに鹿沼市のベリーちゃんのデータをいただきプリントし、11人分を作って喜んでもらいました。



作ったはんてんは、皆さんにプレゼントしたそうです。



鈴木さん、取材ありがとうございました。

音楽に造詣の深い鈴木さんが、以前から広域で鹿沼を支援してくださっていたことを知り、ありがたい気持ちでいっぱいです。

また、この取材の日の加蘇中のお囃子の演奏の見事さに、日頃の指導の素晴らしさと生徒や先生との連携のすばらしさを感じました。音楽は、特に技術的な要素が大きいため、学校が支援を求めている要望の高いボランティアのひとつです。

これからも鈴木さんの技術と子供たちへのその温かい気持ちで、加蘇地区の子供たちの支援をよろしくお願いいたします。

「カソトモ」も楽しみにしています。